



救命講習で学ぼう

講習名	時間	内容
救命入門コース	90分	胸骨圧迫やAED使用法を中心に学ぶコース
普通救命講習	3時間	心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸)やAED、異物除去、止血法
上級救命講習	8時間	普通救命講習の内容に加え傷病者管理、怪我の応急手当、搬送法

- ▶講習費用 無料
- ▶講習場所 町内の希望する場所
※消防署内施設を無料で利用することもできます(申請必要)。
- ▶対象者 原則、町内に在住・在勤・通学している人・在籍する団体
- ▶受講者数 10～30人(定数以外の場合は消防署にご相談ください)
- ▶受講手順 松前消防署に電話→日時決定→申込書類提出→講習
- ▶申込先・問い合わせ 松前消防署救急担当 ☎984-3404

もしもの場合には、あなたも周りの人も動揺し冷静な判断が難しい状況になります。だからこそ、事前に救命処置の方法や必要な情報が入手できる場所を知り、正しい知識を持つておく必要があります。

あなたの大切な人の命を、あなたのその手で守ることができるようになる。この「救急の日」の機会に周りの人と話し合い、一人でも多くの命をみんなで守ることができるよう、行動に移していきましょう。

interview



8月20日、「グループホームこいこい」での講習に参加

NPO法人えひめ障害者ヘルパーセンター 理事長
金村厚司さん
Kanamura Atsushi

以前から利用者のためにも、みんなで一緒に学ぼうと思っていたので、講習を依頼しました。頭の中ではイメージしていましたが、実際に体を使ってやってみて、より強くイメージを持つことができました。もしもの場合にも、慌てる度合いが軽減されたのではないかと思います。

やってみることが大事

「百聞は一見にしかず」という言葉がありますが、これは救命講習でも同じです。どのくらいの強さで胸骨圧迫をしたらいいのか、AEDの使用はどのような点を気を付ける必要があるのか。実際にやってみることで分かることがあります。

す。また、新たな疑問も生まれ、それを学ぶことで自分の身となります。講習は3種類に分かれていて、無料で受講することができます。一度受講したことがある人も、繰り返し行うことで、緊急の場合での冷静な対応につながります。この機会に、救命講習を受講してみませんか。

こんなときどうすればいい？

- ▶症状は軽いけれど、どの病院に行けばいいのかわからない
「えひめ医療情報ネット(<http://www.qq.pref.ehime.jp/>)」を利用してください。県内の夜間・休日の当番医の案内や病院、診療所の診療科目や周辺地図の情報提供をしています。
- ▶夜間に子どもの体調がすぐれないとき、けがなどで心配なとき
小児救急医療電話相談の「# 8000」に電話してください。19時～翌朝8時の間、医師や看護師などが応急手当の方法などについてアドバイスをしています。



消防署だより特別版

生死を分ける8分間

特集1 あなたのその手で救える命がある。

9月9日は救急の日です。周りの人が救急の医療を必要としたとき、あなたは冷静な判断ができますか？ そのためには、救命処置の重要性を知り、実行に移す手立てを知ることが大切です。

救命処置の重要性

「8分」という時間を皆さんはどのように感じますか。では、この8分の間にあなたの大切な人の命が左右されるかもしれないと聞いたら、どう思うでしょうか。

一般的に心臓が止まると15秒以内に意識を消失し、3～4分以上続くと、脳の回復は難しくなります。だからこそ、心臓が止まれば心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸)を行い、心臓や脳に血液を送り続けなければなりません。それは、AED使用の効果を高め、心拍再開後に脳に後遺症を残さないようにすることにつながります。

8分という時間は、救急車が通報を受けて現場に到着するまでの平均時間です(総務省消防庁発表)。その間に、通報を受けた通信指令室の職員が、電話で説明しながら処置を依頼する場合もあります。心臓と呼吸が止まり時間が経過していくと、命を救うことができず、可能性は急激に低下します。しかし、救急隊到着までに居合わせた人が救命処置を行うことで、救命の可能性が2倍ほど上がることが分かっています。

救命処置の大切さを理解して、事前に処置の方法を知っておくようにしましょう。

✓ CHECK

松前消防署管内の救急出場件数

平成25年中の松前消防署管内の救急出場件数は、1,339件です。2年連続で1,300件を超え、増加傾向となっています。

救急車が到着するまでに…

救急車が到着したらすぐに病院へ向けて出発できるように、準備しておくことが大切です。保険証、お薬手帳やかかりつけ医の診察カードなど、必要なものを準備しておきましょう。